

(別紙様式)

(A3判横)

令和6年度学校自己評価システムシート (県立大宮光陵高等学校)

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身に着け、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の向上と自立する力の育成に向け、学習意欲を高める授業を展開し、生徒一人一人の進路希望実現を支援する。 2 グローバルな視野を養う機会を推進し、豊かな人間性と創造性を育み、様々な角度から物事を考え自ら率先して行動できる人材を育成する。 3 多様で特色ある本校の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者	5名
生徒	3名
事務局(教職員)	12名

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)		
年度目標					年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>(現状) 生徒、保護者とも授業の充実への期待が大きい。生徒の授業への満足度は高いので、生徒により主体的に学習に取り組みせ、学力を向上させることが求められる。また、進路指導に対する期待も大きく、生徒がより主体的に進路について考え、将来を見据えた選択ができるようにすることが望まれる。そして、進路に対する意識の向上を学習意欲と学力の向上へとつなげていくことが肝要である。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学ぶために、授業等でのICTの効果的活用を推進する。 生徒に目的意識を持たせ、見通しを持たせ、良好な学習習慣を育成する。 進路指導を充実させる。 	<p>学力、学習意欲の向上と授業改善を行う。</p> <p>進路情報の提供、体験職業観の育成、実力を養成する環境の整備等を中心とした進路指導を充実させる。</p>	<p>①授業目標、評価規準を明示し生徒の学習意欲を伸長させ、学力向上につなげる。</p> <p>②教職員相互の授業観察、ICT活用の研修推進を通しての授業改善していく。</p> <p>③進路行事を一層充実させ、必要な進路情報を生徒、保護者に適切に提供する。</p> <p>④進学補講の充実、外部機関と学習支援での連携を図り、生徒の自立的な学習習慣を向上させる。</p>	<p>①学校評価アンケートでの授業への主体性を示す指標が向上したか</p> <p>①成績優良者が増え、欠点保有者が減ったか。</p> <p>②授業アンケートでの授業満足度が向上したか。</p> <p>③学校評価アンケートにおいて、進路情報の提供や相談等での満足度が向上したか。</p> <p>④生徒の進路希望に則した進学補講や学習支援を実施できた。</p> <p>④生徒個々が昨年度導入した外部機関の学習支援を活用したか。</p>	<p>○相互授業観察、進路行事の見直し、ICT活用授業の校内研修などを行い授業改善や学習環境の整備を図った</p> <p>① 学校自己評価アンケートでは、授業への主体性に関する指標は昨年度とほぼ同じであった。成績優良者数は161人から156人に微減、欠点者数は93人から68人へ減少した。</p> <p>② 授業アンケートでは、すべての授業の平均満足度は90%だった。</p> <p>③ 学校評価アンケートで、進路情報の提供や相談等が適切と答えた生徒は89%だった。</p> <p>④ 夏季休業中の進学補講は17講座を実施。各学年で大学見学や、上級学校の説明会を実施。外部学習支援の利用は昨年よりも減少したが、新たに3学年で、総合型、推薦型入試の映像講義を実施した。</p>	B	<p>・生徒アンケート、保護者アンケートの双方とも授業の充実についての期待が大きい。主体的で対話的な学びや、ICT活用の充実に向けて、引き続き、調査、研究を重ね、取り組む。</p> <p>・進路情報の提供や経験的、体験的な学び、基礎学力の向上など等、一層の進路指導の充実を進めていく。</p>
2	<p>(現状) 高いレベルの芸術活動や国際交流、外国語コースの取組などを特色とし、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が行われている。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4学科1コースが、それぞれの特色を生かした、行事や取組を実施する。 学科、コース相互の情報共有や交流を深める。 生徒一人一人が充実感を持てるような取組を実施しつつ、学校としての一体感を高めていく。 	<p>大宮光陵高校としての一体感を醸成し、様々な教育活動をととして学校生活に充実感を持たせ、個々の生徒の学びの意欲を高める。</p>	<p>①各部活動の活動状況や成果、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の情報を共有し、組織的に生徒の意欲を高める。</p> <p>②生徒が主体的に諸行事を運営する体制を整える。</p> <p>③学科・コースの特色を生かした国際交流事業を実施する。</p>	<p>①部活動の活動状況や成果、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の情報提供が適切に行われ、各種大会やコンクールなどで優秀な成績を修めることができたか。</p> <p>②学校評価アンケートにおいて、行事や特別活動の満足度が向上したか。</p> <p>③事前、事後指導を含めた国際交流事業を実施し、その成果を全校生徒で共有できたか。</p>	<p>○全学校行事等を予定通り実施できた。</p> <p>① 弓道部が関東大会に出場、美術、書道の各々が全国総文祭に出品・出場するなど、好成績をおさめた。</p> <p>② 学校自己評価アンケートでは、生徒、保護者とも93%が行事に満足したと回答。全質問の中で最も評価が高かった。</p> <p>③ 事前・事後の学習を含め台湾訪問を計画通り実施できた。また、姉妹校からの派遣生16名を受け入れた。3月には美術科を中心としたヨーロッパ派遣を実施。</p>	A	<p>・学校行事や発表会、部活動における大会やコンクールなどが実施され、生徒の満足度も高かった。次年度以降も、学校としての一体感が生まれ、さらに、生徒一人一人が充実感を持てるような取組を実施していく。</p>
3	<p>(現状) 学校からの情報提供については一定の評価・信頼は得られている。新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた地域との交流行事も、その多くが再開され、さらなる充実が期待される</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動の実践とその成果について、生徒、保護者、学校で効果的に情報共有を図る。 地域行事への参加や中学校関係者への説明会等を通し、本校の魅力を発信し、信頼を高める。 	<p>HPやメール、ICTを活用して確実な情報を提供するとともに、説明会や交流事業などで本校の特色ある教育活動の情報を発信する。</p>	<p>①本校生徒とその保護者に、行事等の情報を適時的に発信する。</p> <p>②芸術三科を中心に数多くある地域イベントやメディアからの依頼に対し、その内容や効果を吟味し、積極的に協力し本校生徒の魅力を発信する。</p> <p>③本校の特色を情報発信すると共に主体的に地域との交流事業を再開する。</p> <p>④全県の中学生や保護者、中学校等の関係者に本校の情報を適時に提供する。</p>	<p>①情報提供に対する保護者の満足度が向上したか。</p> <p>②地域や各種メディアからの依頼に随時対応し本校の教育活動や生徒の魅力を広められたか。</p> <p>③地域との交流事業を実施し、関係者の満足度を高められたか。</p> <p>④説明会等の参加者数、本校志願者数は増加したか。</p>	<p>○HPやメール等で学校、芸術科、部活等の行事についての情報発信をおこなった。地域行事への参加、説明会等も計画通り実施。</p> <p>① 保護者アンケートでは、「学校と保護者の連携」について、肯定的な回答が74%だったが、情報発信をもっと早くしてほしい等の意見があった。</p> <p>② 部活動、芸術学科が公共団体等から依頼された催し物等に参加、発表し好評だった。</p> <p>③ 植水小学校との交流会を実施、土屋中学校との交流を新規で実施。部活動、芸術学科、有志等、多数生徒が地域ボランティア等に参加できた。</p> <p>④ 予定どおり説明会、体験授業等を実施し、参加者も増加。中学校PTAの高校訪問、個別の中学校での説明会等の実施数は増加。1月現在の中3の本校への進学希望者数は、普通科で大幅に増加している。</p>	A	<p>・学校ホームページやInstagram等その他SNSでの情報発信の時期について改善をし、内容を充実させていく。</p> <p>・PTA活動では、研修会等を実施し、多くの保護者が参加できた。次年度以降より活性化させたい。</p> <p>・地域との交流や地域行事への参加を通し、本校の特色や魅力をより多くの人たちに伝えていく。</p>

学校関係者評価
実施日 令和7年2月4日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>DXが多くの分野で進められている。光陵高校でもDXに対応できる人材を育ててほしい。</p> <p>同時に、情報過多の時代の中で、表面的な情報の理解にとどめず、経験的・体験的な活動の中で、失敗をすることで成長していくようなプロセスも備えた学びの実現を目指してほしい。</p> <p>キャリア教育において、将来の生き方や人権意識を考えさせることは、あらゆる種類の学校生活を送る上での課題である。大学でも「やりたいことがみつからない」学生もいる。大宮光陵高校でも、リアルな体験をさせることに注力して、豊かな人間性を育てることに役立ててほしい。</p> <p>行事の復活は大変大事なことだと思う。もっと盛り上げてほしい。また、海外との交流にも積極的に取り組んで欲しい。光陵高校は、普通科、外国語、芸術のすべての生徒の要望に応えられる、希少な学校である。生徒の主体性を育てる中で、校則の見直しが行われている。校則がひとりひとりを集団にする。そういう前提で、ある程度は規律、校則があってよいと考える。生徒の意識を大切にしつつも、教員の指導を丁寧に入れてほしい。</p> <p>学校情報については、ホームページを工夫したり、Instagramなど新しいものを取り入れたりするなどして、今後も積極的に発信していくとよい。</p> <p>植水小学校や土屋中学校との交流事業を行う中で、両校の児童生徒にはたいへん良い刺激となっている。</p> <p>大宮光陵高校はさいたま市のどこの区に行っても評判が良い。進学を希望する生徒も多く、保護者にもファンが多い。光陵高校の特色を生かした交流活動を今後も続けてほしい。</p>